



第3号
発行日
平成25年 8月18日
発行
社会福祉法人
かしの木会 くず葉学園
発行人 加藤契子
〒259-1302
神奈川県秦野市菩提2058-2
印刷：オフィス・フルプリント

TEL (0463) 75-3221 FAX (0463) 75-2550
URL : <http://www.kuzuhagakuen.com/>

新たな道づくりの開拓に向けて

くず葉学園 園長 加藤契子



このたび、加藤邦彦園長の後任として、くず葉学園の園長に就任いたしました。加藤邦彦前園長には平成6年から19年の長きにわたりご指導をいただきました。心より感謝申し上げます。いつも利用者と共にあった姿を忘れずに、その精神を引き継いで参りたいと思います。今、改めてその任の重さをひしひしと感じております。

5月には家族会で盛大な歓送迎会を催していただき、これまでのご家族の熱いご支援に感謝すると共に、その背後にあるお子さんへの思い入れを強く感じたところです。

今年度は、関係法令の改正に合わせ組織を一部変更するとともに、民間から新たに事務長を迎えて新鮮な息吹を感じております。今後も引き続きご家族の皆様のご支援、ご協力を頂いて、職員一同、力を合わせて利用者の幸せな道作りと地域貢献に努めていきたいと考えております。

くず葉学園は来年度、創立30周年を迎えます。昭和59年に創設され、基盤づくりの10年、その後様々

な試みを重ねて、安定した生活を提供できるようになり、20周年には記念事業として、本館増改築工事が実施されました。増改築工事によって1部屋に2人で居住し、エレベーターの設置やバリアフリー化をして環境も整えました。青年期、壮年期を共に歩み、「その人の持つ力の発揮」を目指してきて、その人らしさの尊重ができていますと自負しています。

時の流れは速く、30周年を迎えることとなり、老年期を迎える利用者も多くなりました。当然、次の高齢化対策が喫緊の課題となっています。くず葉学園は、創設当時青年期中心の利用者でしたが30年の時の流れとともに壮年期、老年期に移行しています。つまり、青年期、壮年期、老年期、それぞれのステージの支援において、一人ひとりの障害を個性として尊重していただける実践力を磨いていかねばならないと思っています。入所の利用者の老年期の豊かな生活のあり方と通所利用者の将来のくらしの場の検討は共に大きなテーマです。新たな道づくりの開拓に、果敢に挑戦していきたいと思います。

平成25年度の新たな体制

今年4月1日付けで「通所事業所施設長」に三浦啓次長が就任しました。昨年度までの早坂光前施設長は、新たなポストの統括課長として、今後のくず葉学園運営の要として、入所施設60名の利用者支援も考慮し、入所・通所両面を担っていきます。また、長年秦野市内の企業で事務管理の経験と経営士の資格を併せ持つ小久保孝二事務長を新たに迎えました。

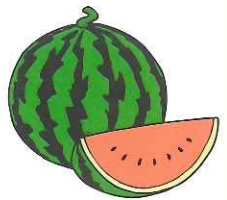
国の財政逼迫のあおりと地域福祉の流れの中で、

障害者福祉は変革を遂げています。当園も障害者自立支援法のもと、平成23年9月に組織改変をしました。更なる支援技術の向上、主体的姿勢の職員育成など福祉マネジメントの構築は緊急の課題です。創立30周年を直前に控えた今年度、加藤契子園長のもと、飯田雅子理事長の薫陶を受けながら職員一丸となって利用者の幸せに邁進します。



楽しかった恒例の夏祭り

スイカ割、金魚すくい、 みんなで一緒に踊って



8月2日、夏祭りを開催しました。

今年はプログラム展開にも、ひと工夫、通所の利用者さんよりも高齢の方が多入所の利用者さんたちには、1時間ずらしたスタートとしました。楽しいプログラムが続いてしまいますと、自分の体力以上にはしゃいでしまい、早々にダウン、なんてことにならないように配慮しました。

ボランティアのフラダンスグループ「モキハナ」の皆さんに来ていただき、非常に盛り上げていただきました。バイタリティー溢れるパフォーマンスに、利用者の皆さんも

大盛り上がり！レイヤスカートを貸していただき、身につけて一緒に踊るとすっかり南国気分になりました。

恒例のくじ引きや金魚すくい、スイカ割りなどを楽しみながら、焼きそばやフランクフルト、ちまきなどでお腹も気分も満腹でした。

夕暮れ時となると次は盆踊り。たばこ音頭や炭坑節の曲に自然と体が動き出して、輪になって楽しんでいました。

最後は打ち上げ花火です。これも恒例でくず葉の職員が点火し、打ち上げるのですが、それはもう見事な大輪の花が夜空に綺麗に映し出されました。皆さん昼間の暑さも忘れ、夜空を見上げて歓声を上げていました。

(女鹿実行委員長)



日中支援プログラム

利用者の笑顔の広がりに 活力源を求めて

平成25年4月1日に施行された障害者総合支援法により、日中支援サービスの在り方が一段と注目されています。くず葉学園は、生活介護と就労継続支援B型の二つの事業を行っています。それぞれのステージの方向性に若干の違いはあるものの、利用者一人ひとりが参加する日中プログラムを進めるうえで『達成感、満足感、充実感を味わいさらに生きる力を発揮する』ことを目的に取り組んでいます。

今年度は、利用者の年齢差や機能差から入所・通所利用者の日中活動での所属を明確に区分しました。入所生活介護では、

作業や仕事という位置づけから創作的色彩をより多く取り入れた内容に変換を試みています。手作り木工・紙すき・タイルモザイクなどによる創作工芸がスタートし、通所生活介護ではガラス工芸を復活させました。学園伝統の織物ではこれら創作作品とのコラボ製品の試作研究を始めています。また、音楽と運動を取り入れた活動も上々の滑り出しを感じています。

まだまだ未知数の部分を残し発展途上ではありますが、利用者の笑顔の広がりが支援者そしてくず葉学園の活力源となって日々奮闘を繰り返しています。

日中活動Iパート

～ 紙すき ～

今年4月より、日中活動Iクラスの中心作業種として、「紙すき」に取組むことになりました。普段、身の回りにあふれている「かみ」を自らの手でつくる喜びがこの仕事の魅力だと感じています。支援者の手ほどきを受けながら利用者が紙をすいたり、材料の加工を手伝ったりしてハガキを作成し、6月の家族会通知を手作りのもので送ることができました。6月はIクラスのご父兄だけでしたが、9月には入所クラスのご父兄にも、手づくりはがきで家族会の通知を送付できるように準備を進めています。

(原田編集委員)



お休みの日は、楽しいことが“いっぱい”



★さざんかクラス プログラム

- 毎年恒例のバーベキュー
- 7月はクラスで好きなカップラーメンを選び、熱々のラーメンを食べました。
- おやつ作りは、どら焼きと鈴カステラを作りました。



★いちようクラスプログラム

しゃぶしゃぶの食べ放題。
みんな、大満足です。



★やまゆりクラス 特別プログラム

休日プログラムを利用したのクラスプログラムは、誕生者をお祝いするクラス誕生会や、長期休暇前に、その期間の頑張りを労うクラス納会を行っています。中華のコース料理に舌鼓を打ちました。



★あかしあクラスプログラム

「夏らしくバーベキューをしたい!」との思いで、ホットプレートバーベキュー。どんどん箸が進み、焼く方が間に合わなくなるほどでした。牛肉、豚肉、ブルコギ風 etc. 種類も豊富に揃えて、皆さん、大満足の様子でした。

2013 リニューアルされた くず葉学園内の施設



●グラウンド舗装

5月10日
ぬかるみや水たまりに悩まされていた学園のグラウンドでしたが、アスファルト舗装となり使いやすくなりました。



●案内板・掲示板

6月21日
学園入り口の看板が古くなったので、新しくしました。掲示板もつけたので、外部の方々に向けてお知らせや学園の活動を掲示しています。



●渡り廊下の工事完了

7月10日 (共同募金補助金事業)
日中活動棟と生活棟をつなぐ通路が開通しました。段差もなく、雨の日にも濡れることもなく日中活動に向かうことができるようになりました。

Mayumiの
簡単レシピ

とても簡単！ おからのサラダ

おからは、豆腐を製造する過程で大豆から豆乳を絞った際に残るもの、いわゆる絞りカスですが、栄養的にはとても優れているものです。高たんぱく質で食物繊維を多く含み、脳の記憶力を高めるホスファチジルコリンが豊富に含まれています。

くず葉学園で製造販売している豆腐の原材料の大豆は、国産のタチナガハ。豆腐はもちろん、おからも豆の風味豊かです。一度、ご賞味ください。



材料(4人分)

- くず葉のおから 200g
- キュウリ 1/2本
- ツナ缶 1/2 (90g)
- タマネギ 1/10個(小玉)
- マヨネーズ 大さじ3杯
- 塩・こしょう 適量

作り方

1. おからは耐熱皿に広げ、電子レンジでラップせず30秒~1分加熱し、そのまま冷まします。
2. キュウリは小口切り、タマネギは薄くスライスしておきます。
3. 冷めたおからに、油切りしたツナ缶・キュウリ・タマネギを加え、マヨネーズで和え、塩・こしょうで味を調えます。

ポイント

ポテトサラダよりもヘルシーで、ボリューム満点です。ひじきの煮物やお好みの野菜をたしてもOKです！

~MISAKOの
カルテから~

シュガーレス

5月に行った身体測定でうれしい出来事がありました。体重の減量に苦労している皆さんにこの嬉しさを共有していただけたら。

毎回、同じ声かけをしていたAさん。昨年秋の測定から5kgも減っており、測定間違いかなともう一度測ってしまいました。間違いなく大幅な体重減でした。Aさんから『砂糖のない飲み物にしたの！健プロのとき息切れしなくなって楽になったよ』とニコやかに答えてくれました。

同じ悩みをお持ちのあなた… Aさんを参考に頑張ってみませんか！

標準体重の算出法

$$\text{身長(m)} \times \text{身長(m)} \times 22 = \text{「 } \quad \text{」 kg}$$

研修会だより (7月28日現在)

5月	高橋 伸明 原 洋	新任研修 高齢者支援セミナー	三浦 祐介 古家 英樹 古屋 恵介	危機介入研修会 防火管理者講習 普通救命講習Ⅱ
	國松 基祥	摂食・嚥下障害のリハビリテーション	高橋 伸明 大久保洋志	普通救命講習Ⅱ 関東地区知的障害福祉関係施設職員研究大会
6月	船坂真由美 原 京子	サブセーフセミナー 知的障害者施設における介護についての基礎知識	佐野美智子 井上 浩一 高橋 憲司	関東地区知的障害福祉関係施設職員研究大会 マネジャー研修Ⅰ 指導的職員(リーダー)研修
	樽木 浩一 岡田 裕 原 洋	普通救命講習Ⅱ 普通救命講習Ⅱ 高齢者支援セミナー	原 洋 船坂真由美	高齢者支援セミナー 特定給食施設等講習会
7月	長谷川美奈子	危機介入研修会		

編集後記

「Leaf 第3号」をお届けします。

第1号が誕生したのが平成17年8月。次男坊(第2号)が生まれたのが平成19年10月。

難産続きでしたが、これからは元気な成長ぶりを定期的にお届けするように頑張ります。

皆さまからの寄稿大歓迎であふれるような紙面づくりをしていきたいと思っています。

ご協力お願いいたします。

広報委員会

- 委員長 小久保孝二事務長
- 委員 井上浩一生活支援課長、古家奈美係長、佐々木ひろよ、原田智治、國松基祥、船坂真由美管理栄養士